

## 略歴書（会長候補）

若松 加寿江（わかまつ かずえ）

関東学院大学工学部 教授、博士（工学）



【専攻分野】地震地盤工学

### 【本会活動】

理事（事業担当）：2006年6月～2008年5月  
事業企画委員会副委員長・委員長：2006年6月～2008年5月  
副会長（学術担当）：2011年6月～  
研究統括委員会委員長：2011年6月～  
功績賞選考委員会委員：2011年6月～  
論文賞選考委員会委員長：2011年6月～  
東北地方太平洋沖地震被害調査連絡会委員：2011年6月～ 2011年9月  
東日本大震災国際シンポジウム実行委員会委員：2011年11月～2012年7月  
論文集特集号「2011年東日本大震災」編集委員会副委員長：2011年11月～  
16WCEE 誘致委員会：2012年6月～  
東日本大震災合同報告書作成委員会英文報告書作成委員会：2012年6月～  
東日本大震災によるライフライン被害データベース検討委員会委員：2012年7月～

### 【略歴】

日本女子大学家政学部住居学科 卒業  
早稲田大学理工学研究科建設工学専攻 修了  
1979年～2008年（財）震災予防協会 研究員  
1988年～2006年 早稲田大学理工学研究所 客員研究員  
1996年～東京大学生産技術研究所 研究員  
2004年～2007年 東京工業大学 特別研究員  
2004年～2007年（独）防災科学研究所川崎ラボラトリー 主幹研究員  
2007年～2010年 埼玉大学地圏科学研究センター 客員教授  
2007年（独）防災科学研究所 招聘研究員  
2008年～（独）防災科学研究所 客員研究員  
2008年～ 関東学院大学 教授（工学部）

### 【受賞】

土木学会 平成4年度出版文化賞（1993年）  
地盤工学会 平成16年度事業企画賞（2005年）  
地盤工学会 平成16年度「土と基礎」年間最優秀賞（2005年）

### 【委員等】

- ・東京都地質調査業協会理事（2002～）
- ・国土交通省国土審議会 専門委員(2009)
- ・埼玉県 国土利用計画審議会 委員(2010～)
- ・神奈川県 国土利用計画審議会 委員(2011～)
- ・土木学会 地震工学委員会 地震災害調査小委員会 委員・副委員長（1998～）
- ・土木学会 地震工学委員会 委員（2007～）
- ・日本建築学会 住まいづくり支援建築会議情報事業部会復旧・復興支援WG委員(2011～)
- ・地盤工学会 関東地方液状化現象の実態解明委員会 統括委員(2011～2012)

- ・地盤工学会 土構造物耐震化研究委員会 委員(2011～)
- ・国土交通省 土地履歴調査地区調査委員会 委員長(2011～2012)
- ・国土交通省 地質・地盤等情報の整備・公開に関する検討委員会 委員(2012)
- ・東京都 東京の液状化予測図見直しに関する専門アドバイザー委員会 委員(2011～)
- ・東日本大震災 8 学会合同調査報告書編集委員会 委員(2012～)
- ・久喜市液状化対策検討委員会 委員 (2012～)

#### 【著書および主要論文】

- ・単著：日本の液状化履歴マップ 745-2008(DVD-ROM 付), 東京大学出版会, 2011
- ・共著：日本の地形・地盤デジタルマップ(CD-ROM 付), 東京大学出版会, 2005
- ・編著：20 世紀の災害と建築防災の技術, 技報堂出版, 2002
- ・共著：自然災害を知る・防ぐ(第2版), 古今書院, 1996
- ・単著：日本の地盤液状化履歴図, 東海大学出版会, 1991
- ・松岡昌志, 若松加寿江, 橋本光史：地形・地盤分類 250m メッシュマップに基づく液状化危険度の推定手法, 日本地震工学会論文集第 11 巻, 第 2 号, pp.20-39, 2011
- ・若松加寿江, 吉田 望, 三上武子：地質年代・堆積環境を考慮した土の繰返し変形特性の支配要因の検討, 地盤工学ジャーナル, Vol.5, No.3, pp.463-478, 地盤工学会, 2010.
- ・先名重樹, 翠川三郎, 若松加寿江：常時微動のH/Vスペクトル比と地形・地盤分類を用いたスペクトル増幅率の推定, 日本地震工学会論文集第 8 巻, 第 4 号, pp.1-15, 2008
- ・Yoshida, N., Tazoh, T., Wakamatsu, K., Yasuda, S., Towhata, I., Nakazawa H., and Kiku, K.: Causes of Showa Bridge Collapse in the 1964 Niigata Earthquake Based on Eyewitness Testimony "Soils and Foundations, Vol.47, No.6, pp.1075-1087, 2007

#### 【所信】

東日本大震災により、国民が求める安全で安心な社会の実現に果たすべき日本地震工学会の役割の大きさを再認識しました。2011 年に副会長に就任以来、会員の皆様のご理解の下に理事会が一丸となって新しい取り組みを進めて参りました。しかし今後 10 年の本会の活動を展望してみると、まだ多数のことを実行していく必要があります。1) 本会の公益社団法人化を達成し軌道に乗せる、2) 社会的活動として、多分野の専門家から成る研究委員会を多く立ち上げ、成果を社会に向かって発信する、3) 国際化の推進を通じて地震防災分野における国際貢献を果たす、4) 以上の活動を通して関連学会との連携を強化する、などを実現したいと考えています。

以上